

水害から命を守る

防災情報に関心を!

荒川上流部改修から100年です。

明治43(1910)年の大水害を契機に、荒川の近代改修は始まりました。上流部の着手は大正7(1918)年、今から100年前のことです。連続堤防の工事や蛇行していた流路の直線化が行われ、以来さまざまな治水対策を進めています。

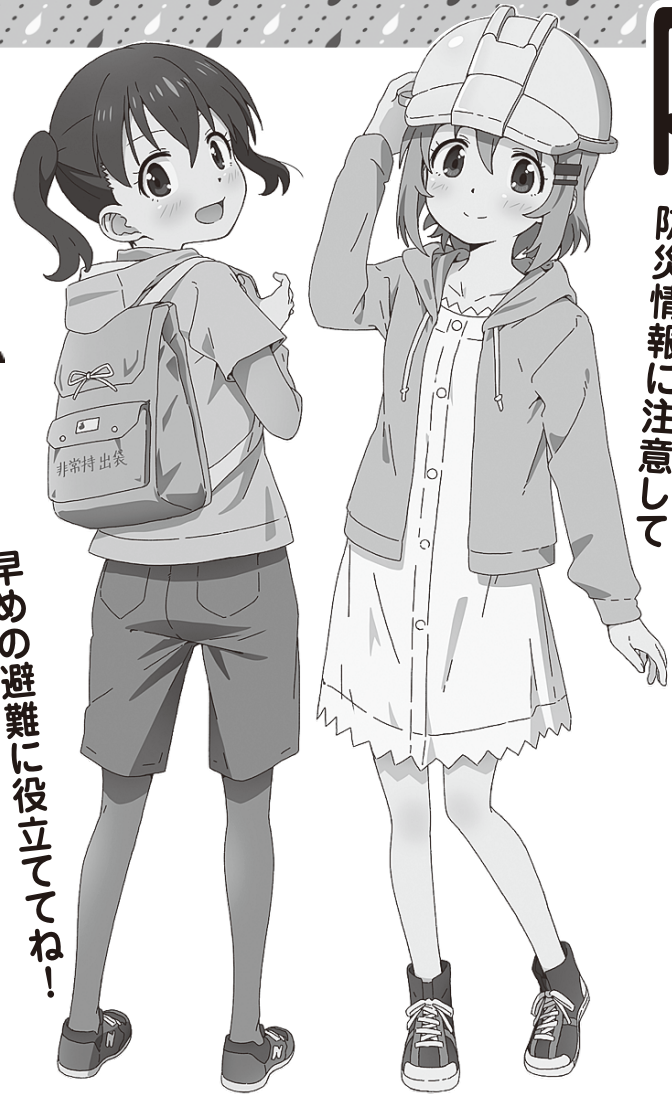
「平成30年7月豪雨」によって、西日本を中心に広い範囲で大きな被害が出ました。また、3年前の「関東・東北豪雨」では、茨城県や宮城県などで河川堤防が決壊して大きな被害が出ました。どんなに対策が進んでも、治水施設だけでは防ぎきれない大洪水は必ず起こり得るものです。

水害から生命を守るためには普段の備えと早めの避難行動が大切です。洪水ハザードマップを確認し、雨や川の情報に関心をもってください。



×
荒川上流河川事務所
 荒川流域の飯能市を舞台にしたTVアニメ「ヤマノススメ」とのコラボが実現しました。サードシーズンの放送が始まり人気です。主人公たちが荒川の今をシリーズで紹介します。

早めの避難に役立ててね!



防災情報に注意して

「巡回パネル展」があなたのまちへ

荒川上流部改修に着手して100年を迎えるのを機に、「巡回パネル展」が始まりました。パネル展は、今年2月に川越市をスタート。1年をかけて上流へ、下流へと流域を巡ります。荒川のこれまでの100年を振り返り、未来に向けた荒川や、地域と荒川との関わりなど「これからの100年」を共に考える機会にしましょう。



開催日程は荒川上流河川事務所のHPをご覧ください

荒川上流部改修100年
 関連イベント情報

1分動画を募集! 荒川1min動画コンテスト

荒川上流部改修100周年を記念して、荒川流域の歴史や文化、見どころなどを題材にした動画を募集します。思わず深掘りしたくなる荒川の魅力をギュッと詰め込んで、1分程度にまとめてください。優秀な作品は、荒川上流部改修100周年実行委員会が表彰し、HPなどで紹介します。詳しい募集要項は荒川上流河川事務所のHPをご覧ください。

荒川上流部改修100年で検索

!? 荒川が氾濫したらどうなるの? 洪水ハザードマップの入手法

市町村が作成する「洪水ハザードマップ」には浸水予想や深さ、避難場所などが記載されています。普段から目を通して、家族や職場で避難方法などを相談しておきましょう。

災害リスク情報などを地図に重ねて表示する「重ねるハザードマップ」がスマホで確認できるようになりました。自分のまちにどんなリスクが潜んでいるのか、確認してみてください。



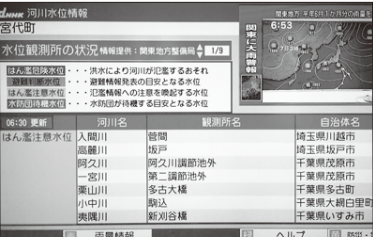
ハザードマップで検索

国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」からも各地のハザードマップを入手できます

!? 雨や気象、川の情報が身近にあります! 的確な避難行動に役立ててください

国土交通省の「川の防災情報」サイトでは雨や気象、河川水位の状況などの情報を配信しています。パソコンやスマホからだけでなく、NHK地上デジタル放送のデータ放送を利用して家庭のテレビでも河川情報をご覧になれます。

身近にある防災情報を活用して、避難の準備や行動に役立ててください。



川の防災情報で検索

放送画面で「dボタン」を押し、TOPメニューの「くらし安全」から「河川水位・雨量」を選択します(画像はイメージです)

